



お蔭さまで1984年4月電子部品の組立工場として産声を上げてから
今年で37年目に突入しました。

工場長 **中地 徹さん**

プラスチックは金属と比較し、軽い、加工が容易、電気・熱を通しにくい、衛生的などの特徴があり、日用品、文具、玩具、家電や住宅、乗り物、医療分野など様々な用途で利用され、今後も適用分野は拡大していくものと思われます。その半面で環境保護の観点より、廃棄物の削減、資源の有効利用(3R/Reduce 減らす、Reuse 繰り返し使う、Recycle 再資源化)の推進が、SDGs(持続可能な開発目標)の世界的な潮流の中で不可欠となっています。弊社も微力ながらその流れに貢献し、次の世代への豊かさに繋げてゆくことが使命だと思っています。

プラスチックの生産を通じ、多彩で快適な物づくりの実現を目指しています。

主な業務
内容

射出成形機 40t～180t クラスの、小・中物製品の生産を主力とし、金型設計・製作、成形試作、量産までと一貫した品質管理体制のもと、多様なお客様のニーズにお応えできる様に努めております。また、工場内全てにおいて自動化・省力化に積極的に取り組んでおります。

3Dスキャナ式三次元測定機

非接触測定機の導入により、成形品の形状を自動認識しスキャンを開始し、従来のスキャナでは不向な小物製品や微細形状も高精度データの取得ができ、「設計値とのズレ把握」や「OK、NG品の解析」など多彩な比較調査で“違い”の見える化を実現しています。

